



◇第15回 北海道神経リハビリテーション治療フォーラム◇

-日本医師会生涯教育講座-

2024年6月8日土曜日に、3年ぶりとなる北海道神経リハビリテーションフォーラムを皆様のご協力により開催できたこと、心より感謝申し上げます。本会は、最先端の脳科学に関する講演を通じて北海道の神経学の発展に寄与するという蕨理事長の理念のもと、コロナ禍以前は毎年継続してきた伝統ある会です。今回のフォーラムでは、以下の講演が行われました。
(豊倉康夫記念神経センター長 田島康敬)



講師 岩田 誠 先生

講演Ⅰ 井上先生の司会のもと、岩田先生から「認知症を生きる」という演題でご講演いただきました。岩田先生は、医療関係者が想像力を十分に働かせて対応することの必要性について、独自の哲学に基づいてお話しくださいました。



座長 井上 聖啓 先生



講師 鷺見 幸彦 先生

講演Ⅱ 柳澤先生の司会のもと、鷺見先生から「認知症を支える社会の仕組み」というテーマでご講演いただきました。

鷺見先生は、認知症患者さんやその家族に対して、今まで以上に積極的に関わり、支援の取り組みを強化する必要性について教示くださいました。



座長 柳澤 信夫 先生

これらの講演内容は、職種の違いにかかわらず、それぞれの立場で日々の診療に役立つものでした。参加者からも多くの質問が寄せられ、非常に感激しました。今後も会の運営方法については検討が必要ですが、本フォーラムを継続していくことは、札幌山の上病院にとっても非常に有意義であると考えます。



令和6年6月8日(土)
16:00~18:30
札幌グランドホテルにて



開催後記 田島康敬

新人看護師

リフレッシュ研修を行いました！

今年度の新人看護師11名入職し、3ヶ月が経過しました。看護部では、毎年この時期にリフレッシュを目的に研修を行っていましたが、今年度は新企画として五天山公園で「BBQ」と「気配斬りゲーム」等のレクリエーションを行い、全員で楽しい時間を共有しました。参加者からは、「とても楽しかった」「同期との交流がさらに深まり、リフレッシュできた」と感想が聞かれました。これからも沢山学ぶことはありますが、同期間の絆を大切に成長していけるよう、看護部全体で支援していききたいと思います。

1病棟C 看護師長 杉本美帆



ふれあい看護体験～2024～

5月12日は看護の日



今年も恒例となりました看護の日イベント、「ふれあい看護体験」を行いました。今年は、少しでも多くの学生に当院のことを知ってもらいたいと考え、札幌手稲高校と北海道科学大学高校の学生25名を迎え、計3回開催しました。看護師と一緒に患者さんの清潔ケアを行い、看護師の仕事を見学してもらいました。参加した学生から、「看護師は色々なところに気を配っていることに気付くことができました」「〇〇さんのように、患者さんから信頼される看護師になりたい」「看護師になりたい気持ちが強くなった」と感想の言葉をもらい、看護の楽しさを改めて感じる機会となりました。

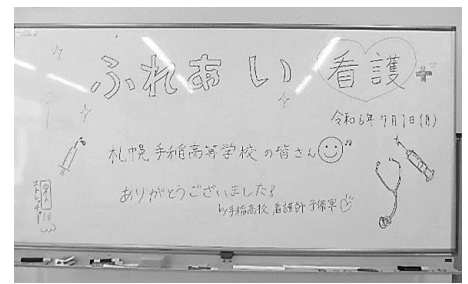
看護部 副部長 井口英涼子



札幌手稲高校のみなさん



看護師と一緒に足浴を体験



ホワイトボードにメッセージを残してくれました

Pick UP!

第96回春の選抜高校野球大会で優勝した高崎健康福祉大学高崎高校が、

第106回全国高等学校野球選手権群馬大会で優勝！！

9年ぶり4回目の夏の甲子園出場を勝ち取りました！！

リハビリテーション部の加藤新司課長の長男「加藤大成」さんも選手として出場します。

初戦は8月7日(水) 英明(香川) VS 健大高崎(群馬)です。

春夏連覇に向け、皆様の応援よろしくお願いたします。



薬事課・調剤課

薬局（薬事課、調剤課）は新年度より薬剤師2名の新入職員を迎え以下の業務に取り組んでいます。

《調剤》 処方箋の内容が適正かどうかのチェックを行ったうえで、一包化や粉末化など一人ひとりの患者様に適した調剤を行っています。注射薬については、投与量、投与方法、配合変化などのチェックを行い安全で適切な治療が行えるようサポートしています。

《病棟業務》 入院される患者様の持参薬の確認を行い、当院の薬へスムーズに切り替えが行えるよう情報提供を行っています。

そのほか、薬物血中濃度モニタリング業務を行っています。これは患者様の薬物血中濃度をもとに薬効や副作用を正確に把握したうえで用法用量を調節することで、薬剤師は血中濃度結果を解析して、適切な用法用量等を提案しています。

また、院内の様々な委員会（医療安全、院内感染対策、褥瘡対策、栄養サポートチームなど）に参加しています。



藤田薬事課長

医薬品情報管理室には専従の薬剤師1名が配置されています。

院内医薬品集の作成、DIニュースの発行など医薬品の適正使用に関する情報を院内にお知らせしています。

また、薬事審議委員会の事務局として新薬の情報収集や採用薬の中止、変更などの決定に関与しております。

医薬品に関連する問い合わせ（主に学術的な内容に関して）にも対応しておりますので、質問などあればご連絡ください。



4月、医事課が新体制でスタートしました。

平成6年3月で、ニチイ学館の医事業務委託契約が完了し、4月より病院職員による新しい医事課がスタート致しました。

現職員3名に新たに医事経験者4名と未経験者3名を加えた新メンバーで『明るい挨拶と笑顔を心がける』をモットーに、患者さんから信頼される医事課を目標に、日々研鑽に励んでおります。

他部署の皆様には色々ご迷惑をお掛けするかと存じますが、ご協力とご指導を、宜しくお願い致します。



2台目の高気圧酸素治療(HBO)装置を導入しました！

当院では2001年4月に1台目、そして2024年4月に2台目の高気圧酸素治療装置を導入いたしました。高気圧酸素治療とは大気圧よりも高い気圧環境の中で高濃度（100%）の酸素を吸入することにより病態の改善を図る治療です。当院では脳梗塞、脊髄神経疾患、難治性潰瘍、腸閉塞、突発性難聴などに対して高気圧酸素治療を行っております。

当院では、臨床工学技士2名により日本高気圧潜水医学会及び高気圧酸素治療安全協会に準じて治療を行っております。また、高気圧酸素治療装置を安全に使用するため、治療前後の日常点検、メーカーによる年1回の定期点検を実施しています。



HBO室拡張工事により部屋が広くなりました。2台の装置の間にカーテンを設置しておりますので2台使用時に隣の患者様と顔を合わせる事がない様に配慮しています。

2台運用となりましたので、より多くのHBO予定患者様になるべく早く治療を提供できるよう努めて参ります。

高気圧酸素治療についてご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。

高気圧酸素治療室 高気圧酸素治療専門技師
臨床工学技士 工藤直人

教えて！ 簡単エクササイズ♪ Vol. 6

やってみよう！腹式呼吸！

運動習慣のない方でもオススメの体操方法です。

腹式呼吸は↓↓

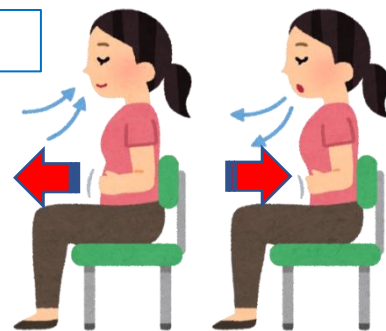
- 姿勢がよくなる ➡ 腹筋群を鍛え、座位・立位の安定感が高まる
- 呼吸トレーニングになる ➡ 呼吸に必要な横隔膜を刺激して肺炎を予防する
- 声量が増える ➡ インナーマッスルを鍛え、肺から空気を出す力が強くなる
- リラックスできる ➡ 自律神経を調整し、副交感神経を優位にする
- 便通が改善しやすい ➡ 腹部内の圧力が高まり、排便をサポートする
- 代謝が向上する ➡ インナーマッスルを鍛え、腹筋を鍛える

など、身体への
メリットがたくさんです。

ポイント💡

さあ、今日からあなたもレッツトライ！！

- おへそに両手をあてる。背筋を伸ばす
- 鼻からゆっくり息を吸う
* お腹に空気を溜めていくイメージでお腹をふくらませる
- ゆっくりと口から吐く。
* 吐くときはお腹をへこませながら、吸うときの倍くらいの時間をかけ吐く
- 回数は1日5回くらいからスタート。
慣れたら10~20回。その日の体調に合わせて、無理なく楽しみながらやりましょう。



理学療法士 リハビリ科 課長代行 須貝恵理



発行元

医療法人 札幌山の上病院

文責 院長 竹井 秀敏

編集 総務課 宮宅 ユナ